「子育て先進区」における予算編成を問う

立憲民主党・無所属議員団　斉藤　ゆり

①「子育て先進区」として、教育予算を確保すべきでは。②児童生徒の通塾比率は半数を超えている。原則基礎的な学習内容習得は学校教育の中で進めるべきでは。③ＧＩＧＡスクール構想において、学びは対面とデジタルとのバランスを保ち、機材を活かすデジタル教材を配備すべきでは。

区長　①良好な子育て・教育環境の実現に向けて適時適切な予算措置を行う。

教育長　②少人数指導や補充教室等を実施し、学習アプリも活用していく。③ドリル形式の教材導入を考えている。

次世代育成委員支援と学校支援ボランティア制度再構築を

①家庭・地域及び学校の連携促進を図る次世代育成委員へ一層の支援をすべきでは。②地域に開かれた学校の実現を進める「学校運営協議会」を設置したコミュニティ・スクールと、「地域学校協働活動」の、取り組みの予定は。③形骸化している学校支援ボランティア制度の再構築は。

区長　①研修等の充実や区民への周知を工夫する。②今後、両制度の一体的な推進が必要であると考える。③その検討とともに関係する現行の制度の見直しを行っていく。

野方以西の西武新宿線沿線まちづくりの課題を問う

①連続立体交差事業の構造形式の決定や公表は。②鷺宮西住宅の建て替えは、ＪＫＫとどう役割分担して進めるのか。③情報は広く正確にタイムリーに提供すべきでは。

区長　①都から都市計画素案の段階で説明を受ける。②ＪＫＫの再編整備計画と整合性を図りながら、広域避難場所の機能強化や道路設備等を進める。③意見交換を行う等、適宜適切に情報提供する。

テレワーク導入における区の施策立案の妥当性を問う

公明党議員団　日野　たかし

①施策立案と予算計上の際は、議会や区民の意見を傾聴することが行政の本来の在り方である。テレワークの導入は、これまでの在宅勤務の検証、今後の施策の議会への報告・議論後に、令和３年４月改定予定の地域情報化推進計画の中で、具体的内容を示すべきでは。②タイムスタンプ、ｅシール等のトラストサービスの活用は、業務効率化につながると考える。検討しては。

区長　①今定例会で執行内容の想定及び金額、システム運用における職員の勤務等の取扱いについての考え方を報告し、今年度中の運用開始を目指したい。②活用可能性について、検討していきたい。

困難を抱える人が等しく活用できるＩＣＴサービス提供を

①区が今後実施するオンライン相談サービスについて、聴覚障害者の方や難聴者の方が希望する場合、手話通訳を介して活用できるようにしては。②区の中心拠点・施設へのＩＣＴによるバリアフリー整備は、ユニバーサルデザイン推進の大きな一歩となる。すでに民間事業者が開発した、屋内・屋外問わず、車いす利用者や視覚障害者の方など、多くの来街者に対応可能な、高精度の音声ナビゲーションシステムの導入を検討しては。

区長　①手話通訳者派遣等、今後の利用者の状況や希望を踏まえ検討していきたい。②民間事業者とともにＩＣＴ技術の活用も含め研究したい。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対策に取り組め

①災害時における、トイレの適切な数の確保・管理は、感染症対策として重要である。確保・管理計画を策定すべきでは。②避難行動要支援者の中には、自宅が安全ならば在宅避難を望まれる方も多いと考える。そうした場合の支援について、検討すべきでは。

区長　①災害状況に応じた、避難所におけるトイレの設置種別や利用時期などを盛り込んだガイドラインの策定について、検討していきたい。②検討の必要があると考える。

旧中野刑務所正門の保存に関連した政策を適切に判断せよ

自由民主党議員団　加藤　たくま

①平和の森小学校の供用開始時期は２０２３年度だったが、今回の旧中野刑務所正門を移築する判断で、２０２７年度となった。早々に移築を選択していれば工期を１年短縮できた。しっかりとした調査も、決断も、工夫も、努力もなく、学校完成が遅れ、子どもたちにしわ寄せがいったことをどう考えるか。②当時、アンケート結果から現地保存しかない、これがエビデンスだと言っていたが、今回の決断は自らを否定するのでは。③区民意見のボトムアップも必要だが、総合的・合理的な判断があってしかるべきでは。

区長　①開校が遅れたことは、お詫び申し上げたい。②様々な声を聞き結論を出したが、多角的に検討し、判断を変更した。③結果的に教育環境と現地保存は両立しがたいと判明し、考え方を変えた。

新型コロナを機に社会変革を踏まえたまちづくりを進めよ

コロナショックで中野区の都心に近いメリットが著しく損なわれ、このピンチを打開する必要がある。①短期的な戦略として、在宅勤務スタイルなどに付随した子育て施設やカフェなどがある新しい生活様式に対応する必要がある。在宅勤務の方々による区内での新しい消費活動や産業・ビジネスの活性化が望めるが、テレワーク普及に対応したまちづくりを考えては。②中長期的な戦略として、社会コミュニティの最小単位の家族が見直され、核家族化に逆行し、親子２世帯など、昔ながらのスタイルに回帰することも考えられる。全世代が過ごしやすいまちづくりを推進しては。

区長　①区民ニーズを踏まえ、経済活性化を図っていきたい。②持続可能な都市づくりに向け、検討を進めたい。

すべての妊産婦を支援する産前産後ケアを実現せよ

立憲民主党・無所属議員団　間　ひとみ

①妊産婦それぞれの状況に寄り添ったプランを組めるよう、利用上限回数が決められている産後ケア事業の横断利用を都に求めては。②アンケート調査を活用し、産前産後ケア事業を利用しなかった方の意見を聞き、現状の課題とニーズを把握しては。③父親目線の子育てや家事のコツを学べたり、産後の母親の状態の理解を深められる連続講座等を、オンラインも視野に開催しては。④父親の産後うつへの支援を検討すべきでは。

区長　①今後の事業実績や利用者アンケートの結果を踏まえ検討していく。②アンケート結果から課題やニーズを把握し、今後の事業構築に活用していく。③繰り返しの参加や仲間づくりにつながるよう、講座の実施方法・内容や日時設定等を工夫していく。④他区の事例など情報収集を行い、必要な支援を検討していく。

デジタル変革（ＤＸ）を推進せよ

①外部人材によるＣＤＯ（最高デジタル責任者）を設置し、デジタル化とともに組織の在り方そのものが変容していくＤＸビジョンと戦略を掲げ、全庁を横断的に指揮・執行する権限を持つ組織を設置すべきでは。②ＤＸの推進における人材活用の考えは。③区長は、ＤＸの推進を通して何を実現したいのか。

区長　①ＣＤＯの設置など外部人材を活用した仕組みづくりを含め、組織の在り方等の実現に向けた戦略を検討していく。②先進自治体の事例を踏まえ様々な可能性を検討していく。③業務のデジタル化により可能となる、区民にとっての使いやすい行政サービスへの再構築と様々な新しい可能性の創出である。

情報通信技術（ＩＣＴ）教育の課題を解決せよ

無所属　むとう　有子

ネットワーク切断などの不具合による授業の中断は、生徒のやる気をそぐ結果となる。不具合があった場合は、保守委託事業者が対応するが、回答が遅いと聞く。レスポンスの改善を図るべきでは。

教育長　契約では原則即日対応することになっており、徹底させる。

子どもの権利を守る一時保護所を開設せよ

一時保護所は虐待や非行等で保護の必要があると児童相談所が判断した子どもの、行き先が決まるまでの生活の場である。区では、２０２２年２月に開設予定だが、どのような一時保護所を目指すのか。

区長　権利が尊重され、安心できる生活体制を確保した上で、適切な支援を行う。

東北復興応援展なかの

１０月２７日（火）から３１日（土）まで「東北復興応援展なかの」が行われました。ねぶたや過去の大祭典のパネルなどが展示され、３１日（土）には、ねぶた囃子（はやし）も披露されました。